

## ジュニアヨット復興ジャンボリーに参加して



名取の閉上ヨットハーバーが壊滅してしまった松島・名取ジュニアヨットクラブが、松島湾奥の松島磯崎港で復活しました。その松島・名取ジュニアヨットクラブがホストクラブになり、宮城県セーリング連盟、関東水域OP連絡会が共同主催して、ジュニアヨット復興ジャンボリー兼2年ぶりの東北ジュニアヨット大会が開催されました。復興を祝い、応援しようと関東からも千葉ヨットビルダーズクラブジュニア、横浜ジュニアヨットクラブ、江の島ヨットクラブジュニア、湘南サニーサイドジュニアヨットクラブ等18名が参加して、総勢9クラブ35名(OP級クラス30艇、レーザー4、7クラス5艇)となり、東北少年ヨット連盟に加盟している松島・名取ジュニアヨットクラブや宮古ジュニアヨットクラブ、いわきジュニアヨットクラブ、浅虫ジュニアヨットクラブの応援と交流をしました。

微風シリーズとなり2日間で4レースしか成立しませんでした。OP級にはアテネオリンピック470級男子銅メダルリストの関一人さん、OP級全日本選手権4連覇を達成した神谷航路さん、湘南サニーサイドジュニアヨットクラブのOBでコーチをしている中村瑛史さんも参戦し子供達をびっくりさせていました。

関一人さんのセールセッティングの時間が一番長かったかも。神谷航路さんはダガーボードケースの上に腰かけてボートバランスを取っていました。夜は各クラブのお父さん、お母さん手作りのBBQ大会、牡蠣やイカ、さんまとお肉のてんこ盛り。キャンプファイヤーも充実していました。



## JJYUよりの特別賞の行方は

東北ジュニアヨット大会の復興を祝って、初めてJJYUより特別賞を贈呈しました。

ジュニアクラブ対抗レースを行い優勝したジュニアクラブに特別賞として関東水域OP連絡会が主催するタイクニックに、エントリー費をJJYU負担で1名参加して頂く海外研修プログラムです。結果は松島・名取ジュニアヨットクラブでした。

レーザー4、7クラスと一緒にレースに参加した二人乗りのヨットに皆びっくり。微風でも早い早い！国際A級ディンギーが登場したのです。役員さんは大喜びで俺にも乗せろと大騒ぎでした。

それもそのはず、全国の大学ヨット部OBによるヨット大会は国際A級ディンギーで行っています。

お爺ちゃん和孩子達のレースを一緒に企画しようとJJYUの理事たちは考えています。

